

# 「苫小牧地区におけるCCS大規模実証事業：常設型OBC敷設工事」の実施について（経済産業省委託事業）

## 1. 概要

苫小牧で実施中の二酸化炭素地中貯留(CCS)実証試験では、微小振動、自然地震のモニタリングのため苫小牧港港湾区域内(図1)に、常設型の海底受振ケーブル(OBC: Ocean Bottom Cable)を敷設し、海底地震計(OBS: Ocean Bottom Seismometer)設置のための容器1式を海底面下に設置致します。

常設型OBCの敷設後の様子は、図2の模式断面図のようになります。

なお、海底地震計(OBS)観測機器本体の設置は、来年度を予定しております。



## 2. スケジュール

工事のスケジュールは、以下の通りで、平成25年7月8日から実施致します。

項目	7月			8月	
	月上旬	中旬	下旬	月上旬	中旬
OBC敷設準備	■				
OBCの海底面設置		■			
OBC埋設		■			
OBS設置容器設置		■			
予備日				■	

\* 工事の作業時間は、原則として8:00~17:00の間で、夜間作業は行いません。

\* 天候や海況により工事期間が変更される場合があります。

## 3. 工事内容

左図1に示す苫小牧港港湾区域内において、長さ3.6kmの海底受振ケーブル(OBC)と約1.5kmの接続ケーブルを海底面下2mの深さに埋設します。また、コンクリート製のOBS設置容器(縦1m×横1m×高さ1m程度)を海底面下に設置します。これら海域工事では、ケーブル敷設用の作業台船、曳船、小型作業船、および警戒船(小型船舶)を使用します。ケーブルの埋設は、潜水士が補助作業を行いながら、沖合よりウォータージェット式ケーブル埋設機を使用して行います。OBS設置容器の設置も、潜水士による作業で行います。



ケーブル敷設作業台船「あわじ」長さ60m、幅23m



曳船「光復丸」151トン



OBC(ケーブル(上)、センサー部(下))の外観

長さ:1,372mm  
直径: 115mm  
重量: 12.6kg



ケーブル埋設機  
(ウォータージェット式)

